

脳
梗
塞

2017年にHospitalist vol. 5 no. 1特集「神経内科」の一部で虚血性脳卒中を扱ってから、5年がたとうとしています。この間、脳梗塞診療は大きく変化しました。例えば超急性期脳梗塞では、血栓溶解療法の適応が拡大され、血栓回収療法のエビデンスが次々と登場しました。また二次予防では、塞栓源不明の脳塞栓症 (ESUS) に対するDOACの有効性に関する研究が複数行われ、アスピリンが第一選択薬であることが確認されました。卵円孔閉鎖が原因の脳梗塞に対する卵円孔閉鎖デバイスが2019年に保険適用となりました。日進月歩の領域であり、脳梗塞をサブスペシャリティにしていなければ、こうした最新の知見を常にフォローし続けるのは大変なことだと感じます。

今回の特集では「脳梗塞」を扱います。脳梗塞の超急性期では、血栓溶解療法や血栓回収療法の適応を、厳しい時間的制約のなかで判断できなければなりません。また、その前段階として、診断がきちんと下せる必要があります。さらに、血栓溶解療法や血栓回収療法の適応がない場合、非専門施設で脳梗塞診療を行うようなケースも少なくないでしょう。そこで、脳梗塞を理解するための解剖学などの基礎となる知識から、進歩の著しい血栓溶解療法や血管内治療、若年性脳梗塞やCOVID-19に合併した脳梗塞といった少し特殊なシチュエーションでの脳梗塞など、最新の知見を含め幅広く知識を整理できる内容を目指しました。

第1章 脳梗塞を理解するのに役立つ解剖学

第2章 脳梗塞の診断

【コラム1】 NIHSS

第3章 脳梗塞の超急性期治療

第4章 脳梗塞の急性期治療

【コラム2】 オザグレリルNa, アルガトロバン, エダラボンのエビデンス再考

第5章 脳梗塞の慢性期治療

第6章 ブレインハートチーム

第7章 脳梗塞のリハビリ療法

第8章 脳梗塞とてんかん

第9章 若年性脳梗塞

第10章 COVID-19と脳卒中

【コラム3】 院内発症脳梗塞

※誌面の都合により、内容が変わることがあります。

● BackNumber

■ Vol.1 (2013年)

No.1 ホスピタリスト宣言

No.2 感染症

■ Vol.2 (2014年)

No.1 腎疾患

No.2 膠原病

No.3 消化管疾患

No.4 緩和ケア

■ Vol.3 (2015年)

No.1 呼吸器疾患1

No.2 外来における予防医療

No.3 循環器疾患1

No.4 血液疾患

■ Vol.4 (2016年)

No.1 代謝内分泌

No.2 周術期マネジメント

No.3 腫瘍

No.4 他科の知識1

■ Vol.5 (2017年)

No.1 神経内科

No.2 呼吸器疾患2

No.3 感染症2

No.4 老年科

■ Vol.6 (2018年)

No.1 腎疾患2

No.2 糖尿病

No.3 肝胆脾

No.4 心不全

■ Vol.7 (2019年)

No.1 外来マネジメント

No.2 総合内科のための集中治療

No.3 抗血小板薬、抗凝固薬のすべて

No.4 内科エマージェンシー

■ Vol.8 (2020年)

No.1 アレルギー

No.2 画像診断①胸部・縦隔編

No.3 手技

No.4 病棟管理

■ Vol.9 (2021年)

No.1 膠原病2

No.2 内分泌疾患2

No.3 不整脈1

No.4 不整脈2

■ Vol.10 (2022年)

No.1 身体診察

No.2 脳梗塞

No.3 感染症3

身体診察の技術は、身近でありながら、いざしかり身に着けるとなると、その広大さはどう向き合えばよいかとまどってしまう、そんなことが多いのだと想像します。今回は学研メディカルサポート様の動画教材「看護師の特定行為研修」の内容を基本設計としました。そのダイジェストである北野先生の「通しの全身診察の型」については、CareNeTV様のコンテンツとして無料閲覧できます(14ページ側注参照)。本特集ではまず1つの道筋として、この「通し」を参考にして自分なりのセットを身に着けていただくことをご提案しています。そして、各稿には、単なるHow toではない、身体診察のロジックが満載です。患者さんに触れること、それは時空を超えた、複雑な診断の構築作業であり、その奥深く、豊かな世界への指針となるような1冊にもなっていればと思います。弊社新刊の『ベイツ診察法 第3版』『ドゥッガーウィン 診断のための診察と検査』も合わせてよろしくお願いします。

● 広告

● 一覧

BonBon…68

医学書院…163, 171

学研メディカルサポート…iv

金原出版…67

南山堂…122, 149

日本医事新報…104

Vol.10 No.1 (第35号) 2022年9月20日発行

Hospitalist

(1部) 定価: 本体4,600円+税

ISBN 978-4-8157-2021-6

発行者 金子 浩平

発行所 株式会社 メディカル・サイエンス・インターナショナル
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-36
電話: 編集部 03-5804-6056 FAX: 編集部 03-5804-6054
販売部 03-5804-6051 販売部 03-5804-6055
URL: <http://www.medsico.jp> Eメール: hospitalist@medsico.jp
振替: 東京 7-28572

印刷所 横山印刷株式会社 電話03-3622-6161

広告取扱 メディカルブレーション 電話03-3814-5980

日本医学広告社 電話03-5226-2791

文京メディカル 電話03-3817-8036

福田商店広告部 電話06-6231-2773

本誌の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)メディカル・サイエンス・インターナショナルが保有します。本書を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて、業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】<出版者著作権管理機構 委託出版物>本書の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。